

今月は、コラム「第2回カエルの星認定書授与式について」を中心に、ワーク・ライフ・バランスに関する施策紹介や最新の動き、調査結果等についてお送りします。

.....

(目次)

《コラム》

「第2回カエルの星認定書授与式について」

【内閣府男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室】

《制度施策紹介 ～人事担当の皆様へ～》

●仕事と介護の両立～介護離職を防ぐために～【厚生労働省】

《企業事例紹介》

●休暇を積極的に楽しもう！「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中！【観光庁】

《最新情報》

●お知らせ

・平成25年度「ダイバーシティ経営企業100選」受賞企業決定【経済産業省】(2014年3月) 他

●地方公共団体等の動き

・平成25年度千葉県男女共同参画白書を公表【千葉県】(2014年2月) 他

●イベント(開催日順に掲載)

・労働セミナー【主催：東京都】

《統計・調査トピックス》

●第1回21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)及び第11回21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)の概況【厚生労働省】(2014年3月) 他

.....

《コラム》

「第2回カエルの星認定書授与式について」

【内閣府男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室】

内閣府では、日々の「仕事」(ワーク)を見直して業務を効率化し、労働時間の縮減や休暇取得の促進など「生活」(ライフ)を充実させているチームを「カエルの星」として認定しています。2月3日(月)、第2回「カエルの星」認定書授与式が行われ、岡田内閣府副大臣より認定書が授与されました。今回は、このうち3チームの取組と成果の一部を紹介します。

・AGS株式会社 情報処理本部 業革推進メンバー（8名、データ入力、情報処理、大量印刷等）では、職場のレイアウト変更を機に、他社や工場を視察したうえで、以下の取組を実施しました。

- (1) 非効率な動線の見直し、
- (2) 会議、作業のスタンディング化、
- (3) ペーパーレス会議、
- (4) 多能化ボード（各人のスキルに見える化ボード）の作成等。

これにより、(1) 時間外勤務が減少した、(2) 資格取得者が増えた、等の成果がありました。

・社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院 CE室 臨床工学技士（32名、医療機器の操作・保守点検・管理等）では、既婚者がチーム全体の約4割となったこと等から、以下の取組により、ジェネラリストを育成し、専門分野を応援できる体制を目指しました。

- (1) キャリアパス・ラダー（医療人として自分の立場・役割を習得、知識・技術を身に付け組織内外で活躍する人材を育成する教育・評価プログラム）の作成・運用。
- (2) 男性のワーク・ライフ・バランス達成度が低いため、マネジメント方針に「ワーク・ライフ・バランスの支援」を掲げるとともに周知。

これにより、(1) 有給休暇取得日数が上昇した、(2) ワーク・ライフ・バランスを達成していると思う割合が上昇した、等の成果がありました。

・セントワークス株式会社 ITソリューション部 Suisui 担当（22名、介護支援ソフトの設計・開発・ヘルプデスク）では、ワーク・ライフ・バランスに取り組む会社方針に基づき、部署内プロジェクトが以下の取組を実施しました。

- (1) 業務の改善案をフリーディスカッションする「カエル会議」（月例）により、問合せ削減に向けたFAQの公開、FAXによる顧客あて情報提供のシステム配信への変更を実施。
- (2) 朝メール、夜メールをもとに業務を分析し、採用計画、役割分担の見直しに活用。

これにより、(1) 平均残業時間が減少した、(2) 業務拡大に成功するとともに人材が定着した、等の成果がありました。

皆さんも、企業におけるダイバーシティ・マネジメントやチーム単位でもできるワーク・ライフ・バランスの取組について、考えてみませんか？

第2回「カエルの星」に認定された6チームはこちら

⇒ http://wwa.cao.go.jp/wlb/change_jpn/kcert/kcert02.html

.....

《制度施策紹介～人事担当の皆様へ～》

●仕事と介護の両立～介護離職を防ぐために～【厚生労働省】

家族の介護を抱えている労働者が仕事と介護を両立できる社会の実現を目指して、仕事と介護の両立に当たっての課題や企業の両立支援策の状況を把握し、介護休業制度等の周知を行う等の対策を総合的に推進しています。

このページでは、施策紹介やデータ・資料等について掲載していますので、ぜひご参考下さい。

⇒

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/index.html

.....

《企業事例紹介》

●休暇を積極的に楽しもう！「ポジティブ・オフ」運動 取組事例を掲載中！【観光庁】

・フォルシア・ジャパン株式会社

～オフを起点に企業の成長を目指す～

世界 30 カ国以上で事業を手がけ、売上高が 186 億ユーロ（約 2 兆 5000 億円）を超える仏系自動車部品メーカーのフォルシア。その日本法人として 1992 年に設立されたフォルシア・ジャパンの社員の多くは中途入社である。そのうち、同業界からの転職者の中には、福利厚生代行サービスへの加入など、より働きやすい職場環境を求めている社員もいた。

そのような状況の中、2012 年 1 月に日本人社長が就任し、風通しの良い社風ができたことをきっかけに、同社では、社員の声を反映させた働きやすい職場作りが進められてきた。例えば、全社員との面談結果を元に、昨年 8 月には、以前は入社半年後から付与されていた有給休暇を入社月から取得できるようにするとともに、特別休暇としてのバースデー休暇や、コアタイムなしのスーパーフレックスタイム制度等を導入するなど、大幅な規定の改訂が行われた。また、福利厚生代行サービスにも加入した。

効果の見極めはこれからだが、これまでの取組について、社員からは「非常に助かっている」などといった意見が届いており、手ごたえを感じている。

直近では、残業時間が比較的多い 開発部門の業務負担を、社員の意見を取り入れながら分散させることで、総労働時間を削減し更なるオフの創出につなげていきたいと考えている。

また今後は、新たに導入した制度の利用拡大を進め、メリハリある働き方を社員に啓発するとともに、社員の有意義なオフを支援する制度が整えられた魅力ある職場をアピールすることで優秀な人材を確保し、企業の成長につなげていきたいと話す。

「ポジティブ・オフ」運動 取組企業・団体の事例掲載中！

⇒ http://www.mlit.go.jp/kankocho/positive-off/torikumi/page02_000044.html

.....

《最新情報》（原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。）

●お知らせ

・平成 25 年度「ダイバーシティ経営企業 100 選」受賞企業決定【経済産業省】（2014 年 3 月）

経済産業省は、女性、外国人、高齢者、障がい者等を含め、多様な人材を活用してイノベーションの創出、生産性向上等の成果を上げている企業として、平成 25 年度には 46 社を「ダイバーシティ経営企業 100 選」として選定しました。本事業は、平成 24 年度から開始しており、3 年程度かけて累積で 100 社の表彰を目指します。

⇒ <http://www.meti.go.jp/press/2013/03/20140303004/20140303004.html>

・平成 25 年度「なでしこ銘柄」を発表【経済産業省】（2014 年 3 月）

経済産業省は、東京証券取引所と共同で、女性活躍推進に優れた上場企業「なでしこ銘柄」を選定しました。昨年度に続く 2 年目の選定で、今年度は、26 社を選定しました。女性の活用は、ダイバーシティ経営を進める上での「試金石」として、企業のイノベーション促進、グローバルでの競争力強化に貢献すると考えられています。

⇒ <http://www.meti.go.jp/press/2013/03/20140303005/20140303005.html>

・第 8 回「多様な正社員」の普及・拡大のための有識者懇談会を開催【厚生労働省】（2014 年 3 月）

標題懇談会が開催され、(1) 労働条件の明示について (2) 労使コミュニケーションについて等について検討されました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000040033.html>

・経済における女性の活躍に関する共同セミナーを実施【内閣府経済社会総合研究所、独立行政法人労働政策研究・研修機構、独立行政法人経済産業研究所】（2014 年 3 月）

標題セミナーが、平成 26 年 3 月 5 日に実施されました。当日の配布資料が公表されています。

⇒ http://www.esri.go.jp/jp/workshop/forum/140305/140305_agenda.html

・「父親のワーク・ライフ・バランス～応援します！仕事と子育て両立パパ」ハンドブックを公表【厚生労働省】（2014 年 2 月）

標題ハンドブック（平成 26 年 1 月作成）が公表されました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/09.html>

・ワーク・ライフ・バランスの推進に関する政策評価＜勧告に伴う政策への反映状況（回答）の概要＞【総務省】（2014年2月）

総務省では、ワーク・ライフ・バランスの推進に関する政策評価の結果に基づく勧告に伴う政策への反映状況（回答）について、内閣府、厚生労働省及び文部科学省からの回答を受け、その概要を取りまとめましたので、公表します。

⇒ http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/82832.html

・平成26年度子ども・子育て支援新制度フォーラムの開催予定【内閣府】（2014年3月）

子育てをめぐる課題の解決を目指し、平成24年8月に子ども・子育て関連三法が制定され、早ければ平成27年4月に「子ども・子育て支援新制度」が本格的にスタートします。平成26年度は、神戸、福島、名古屋、さいたま、広島等で、各界の有識者等に、様々な視点から分かりやすくお話しいただくフォーラムを開催予定です。

⇒ <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/event/forum/index.html>

・産業競争力会議 雇用・人材分科会を開催【政府官邸】（2014年3月）

政府の産業競争力会議の雇用・人材分科会（主査：長谷川閑史経済同友会代表幹事）は14日に第7回会合、18日に第8回会合を開催しました。第7回は「女性の活躍推進」、第8回は「外部労働市場の強化」「大学改革・グローバル人材育成」について議論されました。

⇒ <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/bunka/>

・「短時間正社員制度」導入支援マニュアルを掲載【厚生労働省】（2014年3月）

本マニュアルは、各企業の抱えている経営課題に応じて、各企業のニーズに即した短時間正社員制度の導入や運用改善に必要な知識を得ることが可能となるように構成しています。本マニュアルを活用して、短時間正社員制度の導入や運用改善を図ることにより、企業の人材活用上の課題を解決し、時間制約のある人材が、ワーク・ライフ・バランスを実現しつつ、生き生きと能力を発揮できる職場環境づくりのためにご参考下さい。

⇒ http://tanjikan.mhlw.go.jp/manual/doc/sogo_manual.pdf

・キャリア形成促進助成金【厚生労働省】（2014年3月）

平成25年度補正予算により制度改正を行いました。雇用する労働者のキャリア形成を効果的に促進するため、職業訓練の実施等を行う事業主・事業主団体等に助成します。詳しくはリーフレットをご参照下さい。

⇒

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.h

tml

- ・第 15 回「イクメンの星」を選定【厚生労働省】（2014 年 3 月）

厚生労働省で平成 22 年 6 月から実施する「イクメンプロジェクト」では、働く男性が育児をより積極的に行うことや、育児休業を取得することができるよう、社会の気運を高めることを目的に「イクメンの星」を選定しており、このほど第 15 回「イクメンの星」を選定しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000041406.html>

●地方公共団体の動き

- ・平成 25 年度千葉県男女共同参画白書を公表【千葉県】（2014 年 2 月）

第 1 部「千葉県における男女共同参画の状況」の中で、「ワーク・ライフ・バランスの実現（働き方の見直し）」について記載されています。

⇒ <http://www.pref.chiba.lg.jp/dankyou/hakusho/h25.html>

- ・「仕事と育児の両立を応援します！」パンフレットを作成【滋賀県】（2014 年 1 月）

このパンフレットは、働きながら子育てを行う労働者の仕事と育児の両立を支援することを目的に、関係法令や各種支援のポイントを紹介しています。出産を控えている働く女性をはじめ、育児をしながら働き続けていこうとする労働者の皆さんのご参考になれば幸いです。

⇒ <http://www.pref.shiga.lg.jp/f/rosei/wlb/wlb04/h26ouenshimasu.html>

- ・平成 25 年ワーク・ライフ・バランスに関する意識調査結果を公表【滋賀県】（2014 年 3 月）

本調査は、滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業における一般事業主行動計画の進捗状況およびワーク・ライフ・バランスに関する取組の実態を把握することを目的として実施しました。調査結果のポイントとしては、「ワーク・ライフ・バランスに関する取組についてなんらかの経営上の効果があったとした企業は 72.0%」等が挙げられています。

⇒ <http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/fe00/20140312.html>

- ・「佐賀県男女共同参画の現状と施策」（平成 25 年版）を公表【佐賀県】（2014 年 3 月）

佐賀県では、男女共同参画推進条例に基づき、佐賀県の男女共同参画に関する現状と課題を明らかにするために基礎データを整理し、各部局の男女共同参画関連施策を取りまとめた年次報告を作成しています。このたび平成 25 年度版を作成しましたので公表します。「佐賀県の男女共同参画の状況」の中で、重点目標（7）「仕事と家庭・地域生活が両立する環境づくり」について記載されています。

⇒ http://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/siminkatudou/si-danjo/_32441/_76201.html

・男女共同参画プラン年次報告（平成 25 年度版）を公表【大分県】（2014 年 3 月）

男女共同参画推進条例に基づき、大分県の男女共同参画の現状や推進に関する施策の実施状況を把握するための各種データや、「第 3 次おおいた男女共同参画プラン」に設定された 20 の数値目標の現況値等を「年次報告」として毎年掲載しています。平成 25 年度版の「おおいた男女共同参画プラン年次報告」を作成しましたので公表します。重点目標 3 の中で「男女の仕事と生活の調和」について記載されています。

⇒ http://www.pref.oita.jp/uploaded/life/5028_346298_misc.pdf

・「企業のためのワーク・ライフ・バランスガイド」平成 25 年度版を発行【神奈川県横浜市】（2014 年 2 月）

パンフレットでは、ワーク・ライフ・バランスを企業経営や組織運営に役立てていただくために、導入の意義やノウハウ、よこはまグッドバランス賞認定・受賞企業の取組事例を紹介しています。

⇒ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kikaku/wlb/wlbkigyou-2010.html>

・京都 style 「真のワーク・ライフ・バランス」応援サイトを開設【京都府京都市】（2014 年 3 月）

京都市「京都 style 『真のワーク・ライフ・バランス』応援 web」ができました。ぜひご覧下さい。

⇒ <http://www.kyotostyle-wlb.jp/>

・介護ニーズ調査の結果を掲載【福岡県福岡市】（2014 年 3 月）

「誰もがいきいきと働けるまち福岡」を目指して、平成 23 年度に産学官による「「い〜な」ふくおかワーク・ライフ・バランス推進研究会」を設置し、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業のネットワークづくりやモデル企業の創出に向け取り組んでいます。平成 24 年度、25 年度の参加企業（14 社）の社員を対象とした介護ニーズ調査を実施しました。現在、介護に直面している人は 1 割未満ですが、今後 5 年間で介護の可能性がある人は約 8 割になる等の結果が出ています。

⇒ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/38065/1/260313.pdf>

●イベント（開催日順に掲載）

・労働セミナー【主催：東京都】

（1）新任担当者の方のための就業規則基本講座

日時 平成 26 年 4 月 23 日（水）14:00～16:00

平成 26 年 4 月 24 日（木） 14:00～16:00

テーマ 就業規則の基本ルール（4/23）、就業規則点検・整備の実務ポイント（4/24）

場所 東京都労働相談情報センター池袋事務所（池袋）セミナー室

対象 使用者、テーマに関心のある方 100 名

参加費 無料

⇒

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-zc-huo-000451

（2）基礎から確認！働く人のための「労働時間」「賃金」「休暇」のルール

日時 平成 26 年 5 月 9 日（金） 18:30～20:30

平成 26 年 5 月 12 日（月） 18:30～20:30

テーマ 「労働時間」のルール（5/9）、「賃金」「休暇」のルール（5/12）

場所 東京しごとセンター（飯田橋）地下講堂

対象 労働者・テーマに関心のある方 100 名

参加費 無料

⇒

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-zc-huo-000450

.....

《統計・調査トピックス》

ワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

●第 1 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）及び第 11 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 14 年成年者）の概況【厚生労働省】（2014 年 3 月）

21 世紀成年者縦断調査は、仕事の有無、就業形態、結婚意欲などを継続的に調査し、少子化対策など厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的として、それぞれ、平成 24 年度、平成 14 年度から毎年実施しています。調査結果のポイントとしては、

- ・ 20 代独身女性の結婚意欲は、10 年前に比べ正規・非正規ともに増加
- ・ 20 代独身で就業形態が正規・非正規の者では、男女とも正規で交際異性ありの者の割合が高い
- ・ 20 代独身女性の結婚後の就業継続意欲は、10 年前に比べ正規では「結婚を機にやめる」が減少、「考えていない」が増加し、非正規では「結婚した後も続ける」が減少等が挙げられています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/seinen14/index.html>

●平成 25 年度テレワーク人口実態調査【国土交通省】（2014 年 3 月）

国土交通省では、この度、テレワークの実施状況やテレワーカーの意識・実態などについて調査した「平成 25 年度テレワーク人口実態調査」の調査結果概要をとりまとめました。

本調査結果から得られたテレワーカーの実態・意識等（ポイント）としては、

- ・在宅型テレワーカーの男女比率について、2012 年以降、女性の比率が上昇している
- ・今年度新たに育児・子育て、介護中のテレワーク実施意向について調査したところ、育児・子育て、介護中にテレワークで仕事ができると「思う」または「まあ思う」と回答した割合は、テレワークを経験もしくは実施している人で 7 割を超える

等が挙げられています。

⇒ http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi02_hh_000036.html

●平成 25 年労働条件実態調査【滋賀県】（2014 年 3 月）

滋賀県では、県内の民営事業所に雇用されている労働者の労働条件の実態を明らかにし、労務管理改善等の基礎資料として提供すること等を目的として毎年実施しています。4 分の 3 の事業所がワーク・ライフ・バランスに関する取組を実施している等の結果が得られています。

⇒ <http://www.pref.shiga.lg.jp/f/rosei/jittaichousa/jittaichousa.html>

●ノマドワーカーの働き方実態調査報告書【一般社団法人日本経営協会】（2014 年 2 月）

（一社）日本経営協会では、「ノマドワーカーの働き方実態調査報告書」を取りまとめました。

- ・ノマドワークに対する評価は、仕事でのスキル発揮や内容、自己裁量性、ワークライフバランスについては満足しているが、収入水準については満足していないノマドワーカーの方が多。
- ・「自分らしく働くこと」（70.3%）、「専門能力・専門性を発揮して働くこと」（63.1%）の 2 つが半数を超える回答となっており、ノマドワーカーは自己効力感を持って自分のアイデンティティを尊重しつつ能力発揮することを重視するワーク・ライフスタイルを持つ人々といえる。

等の結果が得られています。

⇒ <http://www.noma.or.jp/report/nomad/nomad2014.html>

●働き方に関する調査【株式会社 NTT データ経営研究所】(2013 年 12 月)

株式会社 NTT データ経営研究所は、「働き方に関する調査」を実施しました。

- ・育児・介護中の働き方として、テレワーク制度等を利用して、場所や時間にとらわれずに、業務内容や業務量を変えない働き方をしたいと回答した人が最も多く、約 2 割を占める。
- ・約 4 分の 1 の管理職が育児・介護中の働き方として、職場の負担があっても、本人が働きやすいように、短時間勤務制度を利用して働き続けてほしいと回答。

等の結果が得られています。

⇒ <http://www.keieiken.co.jp/aboutus/newsrelease/131212/>

.....
●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>

.....
《編集後記》

先日、久しぶりに博物館に行く機会があり、子育て恐竜と言われている「オビラプトル」の化石を見ることができました。このオビラプトル、化石発見時は卵の近くで発見されたため、卵を捕食しようとしていると勘違いされてしまい、「卵泥棒」と訳される「オビラプトル」という名前になってしまったそうです。今では、抱卵をしていたとする説が有力だそうです。ちょっとかわいそうですね。

めっきり春めいてきました。休日にはいつもと違うところ出かけてみるなど、新しい発見を探したり、リフレッシュするのもワーク・ライフ・バランスの取組になりそうです。

次号も宜しくお願ひします。(ひ)

.....